



いしかわ労福協

第 510 号 2010年7月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田 弘志
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

＝ 石川労福協 第2回理事会を開催 ＝

2010年度の活動スタート！

石川県労働者福祉協議会は、6月30日(水)フレンドパーク石川において理事・監事ら19名の出席のもと総会後初の理事会を開催した。

上田弘志理事長が、「2010年度のスタートにあたり『暮らしの総合サポートセンター』の充実に向けて、無料職業紹介所ジョブいしかわ、福祉なんでも相談、子育て支援緊急サポートネットワークの各事業について、役員全体の協力を頂きながら着実に進めていきたい。」と挨拶した。

このあと、宮下亮専務理事が当面する活動として①ライフサポートセンター幹部研修会の開催②ジョブいしかわの求人対策・企業訪問の実施等について提案し確認した。

また、役員改選に伴い福祉基金管理委員会、労福協人事委員会のメンバーを選任したほか、各種団体の役員や勤文協事務局体制の変更、さらには、第42次欧州労働者福祉視察団や海外労働事情調査団の国際交流事業への派遣についても確認した。



－ 2010 年度労福協人事委員会委員－

委員長	上田 弘志	労福協理事長
委員	嶋垣 利春	北陸労金石川県本部長
委員	本田 和雄	全労済石川県本部理事長
委員	宮下 亮	労福協専務理事
委員	光林 邦彦	連合石川副会長
委員	柚木 光	連合石川副会長
委員	狩山 久弥	連合石川事務局長

－ 2010 年度福祉基金管理委員会委員－

委員長	上田 弘志	労福協理事長
委員	手倉森一郎	石川県労働企画課長
委員	吉田 歩	金沢市労働政策課長
委員	嶋垣 利春	北陸労金石川県本部長
委員	本田 和雄	全労済石川県本部理事長
委員	才田 巖	労福協副理事長
委員	宮下 亮	労福協専務理事
委員	坂本 哲治	労信協理事長
委員	横山 和男	生協連会長理事
委員	狩山 久弥	連合石川事務局長
事務局	上野 貞彦	労福協

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員登録状況／サポート状況 2010年6月現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	13	39
わじま	2	12	0
ななお	7	4	0
はくい	5	6	0
かほく	19	68	7
かなざわ	164	495	375
はくさん	38	87	12
こまつ・のみ	21	41	14
計	262	726	447

緊急サポートネットワーク会員 フォローアップ研修会開催



真剣に聞きいるサポート会員

2010年度第1回サポート会員のフォローアップ研修会が、7月3日(土)午前10時からフレンドパーク石川で開催され、県内各地のサポート会員65名が出席し、熱心に講師の話に耳を傾けた。

研修会では、才田巖副理事長が「事業の概況報告と2011年3月で事業を終了するにあたり、ファミリーサポートセンターへのスムーズな移行のための受け皿づくりとサポート会員のファミリーサポートセンターへの引き続きの協力をお願いしたい。」と挨拶した。

午前の部は、NPO法人「サポートハウス」代

概況を説明する
才田巖副理事長

表の山本実千代氏から「障がいや発達に心配のある子と親への関わり方について」の講義があり、午後からは、金沢大学附属病院小児科東馬智子医師より「子どもの食物アレルギーについて」の講

義があり、お互いの知識を深め合った。午前の講義では、前回研修会での「発達障害への理解」につづき、実際に自宅を開放して親からの悩みや相談にのるほか、障害のある子を預かる実践活動と、留意点が紹介された。

また、午後の部では子どもの成長にしたがって「子どもの食物アレルギー」は軽減していく場合が多く、医師と相談しながらあきらめずに時間をかけて治療することが大切だと話された。

出席者からは多くの質問が出され、終了後も講師に相談する場面もみられ、盛況のうちに終了した。

緊急サポートネットワーク アドバイザー
直江圭祐

熱弁する山本実千代サ
ポートハウス代表質問に答える
東馬智子医師

これからの行事予定

開催日	曜日	行 事	会 場	主 催
8月2日	月	地方労福協会議、就業支援全国会議(～3日)	東京都内	労福協
4日	水	第1回事業団体連絡会議	フレンドパーク石川	労福協
5日	木	LSC 幹部研修会 ～6日(金)	金沢市内	県 LSC
13日	金	休館(夏期休業) ～16日(月)		会館
24日	火	労福協第3回理事会	フレンドパーク石川	労福協
27日	金	緊急サポート第2回全国交流集会	東京都内	緊サポ
9月1日	水	中部労福協第2回幹事会(～2日)	富山市内	中部
7日	火	第2回消費者大会実行委員会	フレンドパーク石川	その他
16日	木	全国会館協総会、研修会(～17日)	福岡県内	会館
10月12日	火	第3回消費者大会実行委員会	フレンドパーク石川	その他
20日	水	第8回福祉グラウンドゴルフ大会	高松グラウンドゴルフ場	県 LSC
11月9日	火	日帰りバス旅行「伊勢 1000 年祭参詣」	三重県	金沢 LSC

※各行事については、直接主催者に確認ください。

北 陸 労 金

第9回通常総会を開催



通常総会の模様

北陸労働金庫第9回通常総会は、6月25日(金)午後1時30分よりJR金沢駅前の石川県立音楽堂の邦楽ホールにおいて、代議員、臨時代議員1424名が出席して開催した。

「日本労金」設立せまる



森田則夫理事長

森田則夫理事長は、挨拶で「『本総会は今までの総会と若干変わって来る』と前置きし、2012年4月の全国合併による日本労金の問題をあげた。これまでは、3県が心を一つにして北陸労働金庫としてきたが、今後は、世界の労働金庫として日本労働金庫が設立されようとしている。日本労金となった場合、我々の声が反映できるか、店舗数が少なくなかないか等の質問が寄せられている。しかし、経営をして行くうえでは、経営基盤の確立が必要あり、この確立には全国合併が必要である。」と強調した。

また、今年度の活動について、中山光男専務理事は①北陸労働金庫の創立10周年活動を10月から来年7月までに実施する。②2013年5月から稼働する次世代システム 中村栄一新副理事長の開発。③日本労金への移行にかかる個別の議論は今後すすめられる。④今年度の出資配当は4%とするが、来年度からは利用分量も取り入れ、出資配当を3%、利用分量を1%として還元することを協議している。等の基本方針を説明し、提案通り承認された。

なお、役員のうち中村栄一常務理事が代表権のある副理事長に昇格した。



中村栄一新副理事長

退職前セミナー

金沢からスタート!



開講に先立ち挨拶する宮下亮専務理事

6月27日(日)午前9時30分から、県LSC主催の「第8回退職前セミナー」が、金沢市西念のフレンドパーク石川を会場として開催された。

テーマは「退職後の生活設計に大きなプラス!」と題し、年金制度の仕組みや退職後の健康保険制度などを、おなじみの社会保険労務士谷内美穂子氏を講師に迎え、60名が受講した。

例年、推奨している夫婦参加の呼びかけに対



講演する谷内美穂子氏

しても21組の参加があり、講師の話に頷きながら確認し合う光景が見られた。また、講演後の個別相談会では、遺族年金や受給手続きなどについて、多くの方々が順を待って相談を受けた。

車のご購入資金なら 〈ろうきん〉へ

無担保 ろうきん自動車ローン 2010年9月30日まで
「くるま自慢」キャンペーン実施中!

キャンペーン最優遇金利

変動 年1.90% ~ 年2.60%
キャンペーン基準金利

◆ご融資額 最高500万円 ◆ご返済期間 最長10年
◆ご返済方法 毎月返済または、毎月返済・ボーナス返済の併用
※保証料0.5%または1.4%が別途必要です。
※2010年7月10日現在適用中。
※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

詳しくは最寄りの〈ろうきん〉までお問い合わせください。

福祉グラウンドゴルフ中央大会 開催日程決まる

7月21日(水)フレンドパーク石川において、第8回福祉グラウンドゴルフ中央大会を運営する関係団体の代表者が参加して実行委員会が開催され、大会の開催日程や開催要項などが協議決定された。

なお、中央大会の開催日程は次のとおり。

日時 10月20日(水) 午前9時スタート

会場 高松グラウンド・ゴルフ場

(かほく市ニツ屋)

勤 体 協

ひょっこりのとじま「2010能登島ロードレース」 第13回大会に全国から過去最多の 1376人が潮風受け快走!



勢いよくスタートする選手ら

ひょっこりのとじま「2010 能登島ロードレース大会」は7月4日(日)に開催され、北海道をはじめ全国29都道府県から過去最多の1573名がエントリーし、当日は男女別8部門1376名の選手がハーフの沿岸周回コース、10kmの森林田園コースに分かれ、初夏の能登島で健脚を競い合った。

この大会は、今年で13回目を数えるが、能登島大橋無料化を記念して始まり、参加対象者を18歳以上の勤労者やOBに限定した全国的にも珍しいものです。参加者には70歳以上の方が36名を数えるほどであり、ランニングが生涯スポーツとして愛好されていることを表している。

大会の開会式は、スタート地点の能登島生涯学習総合センターで行われ、大会実行委員会と

主催の北國新聞社、共催の石川県、七尾市、七尾市教育委員会や後援の石川県労働者福祉協議会から、それぞれ歓迎と激

励の挨拶があった後、出口良信選手(七尾市)が力強く選手宣誓を行った。

当日は、初夏とはいえ、停滞する梅雨前線の影響を受けたものの、雨上がりで選手には少し走りやすい条件となったようで、ほとんどの選手は、風光明媚な能登島の自然を満喫して完走した。

また、選手たちは、大会運営ボランティアの協力で、レース中は元気づけられ、さらに、ゴール後は豚汁やおにぎりが振る舞われ、大好評のうちに大会が終了した。

最後に、この大会の運営にご協力いただいた能登島地区の多くの市民ほか、関係機関、関係者らのご協力に感謝し、この大会を明年も開催できるよう、石川県、七尾市をはじめとした関係各位のさらなるご指導ご支援をお願いする。

石川県勤労者体育協会



各組の優勝者の皆さん

タオル1本からできるボランティア

介護施設で不足しがちなタオルを、皆様からご寄付いただき各施設に配布します。皆様のご協力をお願い致します。

●未使用タオルまたは
使用済みでも洗濯済みのもの

金沢地域ライフ・サポートセンター
TEL231-2313

訂正とお詫び

前号「総会・評議員会」の中で誤りがありました。次のとおり訂正し、謹んでお詫びします。

「労信協第43回評議員会」

(正)専務理事奥村寛道 (誤)事務理事

「金沢LSC」

(正)事務局次長宅本門示 (誤)宅本門司

編集者